

講師略歴

宮元三恵（みやもとみえ）

福岡県生まれ。1996年、アーキテクチュラル・アソシエーション・スクール（ロンドン）修了。2006年、東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程修了。子どもの身体感覚に基づくワークショップや動物の巣をモチーフにした空間制作など、空間の知覚や体験をテーマとする活動を国内外で展開している。

東京工科大学デザイン学部・大学院デザイン研究科教授。

講師からのメッセージ

私もこれまで美術館という建物のことをあまり意識していませんでした。というのも、美術館を訪れる目的は展示されている絵画や彫刻だったからです。ただ、印象的な展覧会を振り返ると、美術館に辿り着くまでの道筋や誰と一緒にだったか、鑑賞中にベンチで過ごしたことや、観終わった後ロビーで図録を開いた時間などが思い出されます。その意味では、美術館という建物は、訪れる人が作品に集中できるように目立ちすぎず、私たちが作品に向き合う時間をこっそり支えるどこか陰のような存在なのかもしれません。国立国際美術館は世界でも稀な地下にある美術館ですが、今回のワークショップで皆さんと改めてこの建物についてじっくり考え、地下にあることだけが特徴ではないこの建物の新たな魅力を一緒に発見できることを楽しみにしています！